

戦争という渦のふちに

葛飾北斎という人が、初めて漫画というものを作りました。北斎は漫画以外にも、枕絵や錦絵など、いろいろな絵を描きました。私たちは、それを読んだり、芝居にしたりして楽しむ「おおらかな土壌」を持っていたのですね。「おおらかな土壌」があるから、日本の漫画は世界中で愛されるのです。それが、今なくなりつつあるのではないかと、いうことを、私は非常に憂えています。

ここ数年、漫画やアニメを取り締まる条例や動きが、まるで「大きな渦」



漫画家 ちばてつやさん

のようになっています。漫画の次は新聞、小説、写真など、いろんなものを取り締まりの対象になることを、戦前から聞いていました。私たちは、日本は、その渦のふちに

ストップ

共謀罪

(7日のペンクラブ
主催の集会から)

理不尽に慣らされない



作家 中島 京子さん

森友学園の問題と共謀罪は裏表だと思えます。権力が味方だと思えば、ありえない利益を供与するのが森友学園のケース。権力が敵だと思えば、ありえない方法で取

7の犯罪がテロとどう関係があるのか分からない。むしろこれは誰かを取り締まりたいときに、277の犯罪からどれかを選んで使うための法律ではないでしょうか。

国会で審議されると聞いた時は、また強行採決かというあきらめの気持ちがありました。理不尽に慣らされることに抵抗しなくては行けない。安保法制の時のように、反対の声を上げ続け、4度目の廃案にもっていきたいと思っています。